

<H12-6-A:問題>

図 6-1 は、国土地理院発行の 1/25,000 地形図において、各種の表現事項が重複する場合の表示方法を示したものである。間違っているものはどれか。図中の 1～5 の中から選べ。
ただし、表現事項が重複する場合の表示方法は、表 6-1 によるものとする。

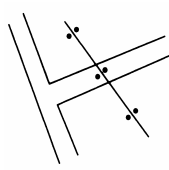
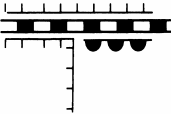
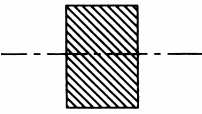
1	2	3	4	5
水涯線・水部と送電線	幅員 3m 以上の道路と送電線	鉄道とへい・擁壁	独立建物と境界	植生界と境界
				

図 6 - 1

A 列	B 列							
	水部・水涯線	幅員 3 m 以上の道路	鉄道	独立建物	へい・擁壁	送電線	植生界	境界
水涯線・水部		B	B	AB	AB	a b	A	AB
幅員 3m 以上の道路			a b	B	B	A	A	A
鉄道				AB	AB	A	A	AB
独立建物					AB	A	AB	a b
へい・擁壁						a b	A	AB
送電線							AB	AB
植生界								AB
境界								

表 6 - 1

表の読み方

表中の各欄は、A 列と B 列の事項が重複する場合の表示方法を示す。
表中の欄に A と指定されているときは A 列の事項を表示するものとする。以下同様に、B のときは B 列の事項を、ab のときは A 列と B 列の事項を重ねて、AB のときは A 列と B 列の事項を 0.2 mm 離して、それぞれ表示するものとする。

〈H12-6-B:問題〉

次の文は、ユニバーサル横メルカトル図法 (UTM 図法) に基づく UTM 座標系について述べたものである。

〔ア〕～〔オ〕に入る語句又は数値を表 6-2 から選び正しい文を作成したい。最も適当な組合せはどれか。次の中から選べ。

UTM 座標系は、地球全体を東西幅 〔ア〕 の南北に長い経度帯に分割している。各経度帯における座標系の原点は、中央経線と赤道の交点である。各経度帯は、経度 〔イ〕 の経線を起点とし、東回りに

〔ウ〕 を No. 1 として No. 〔エ〕 までの数字で区分されている。

UTM 座標系は、各経度帯ごとの中央経線における縮尺係数を 〔オ〕 とする割円筒を投影面としたガウスクリューゲル図法を用いている。

	ア	イ	ウ	エ	オ
1.	i	d	a	e	g
2.	i	c	b	e	h
3.	k	d	a	e	g
4.	k	c	a	f	g
5.	i	d	b	f	h

表 6—2

a.	西経 180° ～172°	f.	60
b.	西経 180° ～174°	g.	0.9999
c.	0°	h.	0.9996
d.	180°	i.	6°
e.	45	k.	8°

〈H12-6-B:解答〉

<H12-6-C:問題>

図 6-2 は、国土地理院発行の 1/25,000 地形図の一部(150%拡大、一部を改変)である。図中の緯度 $34^{\circ} 3' 12''$ 経度 $131^{\circ} 9' 53''$ の位置にある施設は何か。次の中から選べ。

ただし、図の四隅に表示した数値は、経緯度を表す。

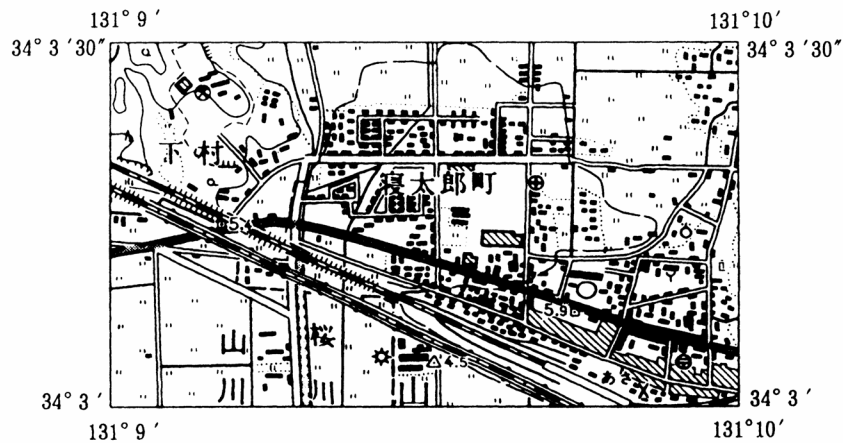


図 6—2

※縮尺は、正確に表示されない場合があります。

1. 高等学校
2. 官公署
3. 町村役場
4. 消防署
5. 郵便局

〈H12-6-D:問題〉

次の文は、地形図などを数値化する方法について述べたものである。〔ア〕～〔エ〕の中に入る語句の組合せとして最も適当なものはどれか。次の中から選べ。

既成の地形図などに表現されている情報を、計測機器、コンピュータなどを用いて計測し、編集装置のディスプレイ上で編集、修正などを行い、デジタルデータを作成する作業を、既成図数値化と呼ぶ。数値化されたデジタルデータは、ベクタデータとラスタデータに大別することができる。

ベクタデータには、〔ア〕をもった点や線によって表現される図形データがある。また、ラスタデータには、行と列に並べられた〔イ〕の配列によって構成される図形データがある。ベクタデータの作成方法としては、次のようなものがある。

- ・ 〔ウ〕を用いて、地形図などに表現されている図形的情報の座標値を、手作業で計測する方法
- ・ 〔エ〕を用いて、地形図などに表現されている図形的情報をラスタデータとして数値化したのち、細線化、芯線化処理などによりラスタ・ベクタ変換する方法

	ア	イ	ウ	エ
1.	座標値	画素	ディジタイザ	スキャナ
2.	画素	座標値	プロッタ	ディジタイザ
3.	座標値	画素	プロッタ	スキャナ
4.	画素	座標値	ディジタイザ	プロッタ
5.	座標値	画素	キーボード	ディジタイザ